

11. 58

願書、審判請求書等の氏名又は名称の表示において外国語の読み方に起因する表音のみが相違する場合の取扱い

1. 願書、審判請求書等に記載された出願人、請求人等の表示と添付書類（代理権を証明する書面、法人証明書等の翻訳文）及び中間書類の表示が相違する場合において、その相違が外国語の読み方に起因する表音のみの相違であって、主体の相違でないと判断できるときは、補正を命ずることなく受理する（登録申請書と添付書類及び登録原簿との相違の場合も同様に取り扱う。）。
2. 特許権の存続期間の延長登録出願の出願人の表示と特許登録原簿上の特許権者との相違が、外国語の読み方に起因する表音のみの相違であると判断できるときは、同一性を否認しないこととする（変更出願、分割出願、補正却下後の新出願、実用新案登録に基づく特許出願、関連意匠出願及び防護標章登録に基づく権利の存続期間の更新登録出願についても、同様に取り扱う。）。

（改訂平成23・11）